



放送大学栃木学習センター

とちの実

Tochinomi

2023

1

月号

No.127

新年のご挨拶

新型コロナウイルスの影響がまだ続いております。

心よりお見舞い申し上げますとともに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

間もなく2022年度第2学期単位認定試験を迎えます。

厳しい寒さが続いておりますので、体調を整えしっかり準備してください。

今年もまた、私たち栃木学習センター職員一同は

全力を尽くして皆様の勉学をサポートしていく所存です。

何卒よろしく申し上げます。

放送大学栃木学習センター職員一同

鎌倉山の雲海（茂木町）

目次

巻頭言……………p.2

2022年度1学期学位記授与式/卒業生代表挨拶
……………p.3

卒業生からのアドバイス……………p.4～5

単位認定試験……………p.6～9

次学期の準備/図書だより……………p.10～11

特別ゼミのご案内……………p.12～13

公開講演会のご案内……………p.14

キャンパスカレンダー……………p.15

学習相談日……………p.16

巻頭言

心の中に平和の砦（とりで）を築く

宇都宮大学教授

清水 奈名子

2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、この原稿を執筆している2022年11月の時点でまだ続いています。日本のメディアもこの戦争を連日報道しているため、多くの人々が戦争の恐ろしさを強く感じるようになりました。長期化している戦争を受けて欧州各国では、軍事費を増額しようとする動きがみられます。日本も例外ではなく、防衛費を5年で倍増させ、世界第3位の軍事大国を目指す方針が政府によって打ち出されました。より強力な軍事力を備えれば、平和を実現できるのでしょうか。

この問いへの答えは、簡単ではありません。安全保障研究では常々、「安全保障のジレンマ」と呼ばれる問題が指摘されてきました。すなわち、自国の安全のための軍備拡大は、対立国から見れば脅威の増大となるため、対立国も軍備拡大に走る結果、かえって安全保障環境が悪化するという問題です。さらに、これからの日本は少子高齢化が急速に進む縮小社会であり、カロリーベースの食糧自給率は約38%（2021年度）、エネルギーの自給率は約12%（2019年度）に過ぎません。軍事大国として振舞い続けることは、果たして可能なのでしょうか。

日本の国力が減退していく時代においてこそ、私たちは歴史の知恵から学び、知的な力を磨きながら、戦争を防ぎ、平和を実現するために尽力する必要があると思います。そもそも戦争はなぜ発生するのでしょうか。6千万人以上が犠牲となったといわれる第二次世界大戦を経験した人々は、自らの過酷な経験から次のような言葉を「ユネスコ憲章」の前文として残しています。少し長くなりますが、以下引用します（傍線は筆者による）。

戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

ここに終りを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代りに、無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という教義をひろめることによって可能にされた戦争であった。

文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、且つすべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果さなければならぬ神聖な義務である。

政府の政治的及び経済的取極のみに基く平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって平和は、失われたいためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない。（文部科学省の訳による）

世界大戦を経験した先人たちは、教育、科学、文化の分野で国際協力を推進するユネスコを創設した理由を、このように述べていました。私たちが放送大学において学びを深めることは、戦争を防ぎ、心の中に平和の砦（とりで）を築くうえで、重要な営みであると言えるのです。

2022年度第1学期 学位記授与式

10月2日(日)、栃木学習センター大講義室で「2022年度第1学期学位記授与式」を行いました。

栃木学習センターからは、教養学部生25名が卒業されました。また、その中から5名の方が生涯学習奨励賞(卒業・終了回数3回目以上)を受賞されました。

栃木学習センター教職員一同、心よりお祝い申し上げます。



(伊東所長 式辞)

【生活と福祉コース】	10名
【心理と教育コース】	6名
【社会と産業コース】	3名
【人間と文化コース】	4名
【情報コース】	1名
【自然と環境コース】	1名
	計25名

卒業生代表挨拶

阿部 泰樹 様 (人間と文化コース卒業)

皆様、ご卒業おめでとうございます。

放送大学、関係者の皆様、本日は私達のために卒業式という、素晴らしい式を開いて下さりありがとうございます。そして、この卒業式に来ていただいた皆様、お忙しい中での参列、本当に感謝しています。

この大学は、仕事をしながら学んでいる方や、初めて大学で学ぶ方、学び直している方など、年代問わず色々な方がその人に合った学びが出来る素晴らしい所です。

私はあれも知りたい、これも知りたいといった思いが高まったのをよく覚えています。この大学で学んだことを誇りに思い、これからも頑張っていきます。本日はありがとうございました。

卒業生からのアドバイス

「コロナ禍での凡人の学習」

川内 國雄 様（社会と産業コース卒業）

定年退職後放送大学での学び直しとして、社会と産業コースは4回目の入学であった。この2年間は全期間がコロナ禍であり人との交流が制限された環境であったので、返って放送大学の学習に集中できると思いきや、単位認定試験はネットでの出題で学生にとってはテキスト参照可、時間無制限の不合格の心配なしのラクチン試験であったので、安心感もあって怠け癖が出てしまった（22年度1学期からはWeb受験になったが）。

私の放送大学における学習の仕方は、テキストを読み放送教材を観て内容を理解し（＝覚えて）試験に備えるという中学校以来のやり方であったが、今回のように試験対策に追われることが少ない環境でこそ、その科目の内容の本質的なことを考えて追及すると言う本来の学び直しの絶好の機会であったのだが、悲しいかな凡人の私は時間を無駄にしてしまった。勿体ないことをしたと反省している。

10月からは5回目の入学で情報コースが始まるが、真の意味での学び直しの学習を目指したいと思っている。

「恩師と家族に感謝」

差波 れい子 様（心理と教育コース卒業）

「はぁ？ 大学！？ もう少し子どもたちが大きくなってからにしたら？」

夫と母に渋い顔をされながら始めた放送大学での勉強。わが家には子どもが4人おり、入学当時は末子が2歳。家事も育児も仕事も忙しいのだから、当然といえば当然の反応でした。

そんな私の背中を押してくれたのは中学時代の恩師でした。

「家族の理解が得られないのならば、試験の日などに子どもを預かってあげる。いくつになっても学びは大事。知の海は深いのよ。」

その言葉を胸に、ドボンと飛び込んだ放送大学での5年間は、本当に広く深い海で泳ぐようなものでした。

後半は、面接授業に出席するため家をあけることが続きましたが、そのうち夫と母は仕事を休んで代わる代わる留守番を買って出てくれるようになりました。授業が終わって夕方遅くに家に着くと、長男がすべてご飯を作ってくれていた日もありました。本当に、家族の協力なしではこうして卒業することはできませんでした。

恩師にこのたび無事卒業した旨伝えると「知は力なり」という言葉が返ってきました。自分の人生を自分の思うように切り開いていく、そのための「知は力」です、と。

背中を押してくれた恩師と、惜しみない協力をくれた家族に心から感謝します。



「挑戦し続ける」

立花 千枝子 様（生活と福祉コース卒業）

第二の人生に臨むにあたって、放送大学で勉強することを選択した。入学当初から卒業を目標とせず、興味を持った教科を履修していったが、その中で、幾つかエキスパートも取れ、同時に関連する教科に関しては大学院の科目履修生にもなった。同じく外部の資格にも挑戦出来た。こういった意味で有意義な時間が過ごせたと思っている。一番は客観的に捉え考えることを覚えたことである。そういう中で10年。在籍期間が切れるので、これは一旦卒業しようと思いは卒業を目指した。何とかぎりぎり間に合ったのでほっとしている。試験がWeb受験となり、オンライン授業も増えた。私を含めてどれだけ学習者が助かるかと新システムを歓迎している。学ぶことには色々な方法があり、諦めずに続けることで何とか道が開ける。別れの多い年代となってきているが、だからこそ、勉強の上では、新しい出会いに挑戦し続けたい。

「卒業を迎えて」

渡邊 寛子 様（生活と福祉コース卒業）

私は看護学士の学位取得を目標に放送大学に編入学をしました。もともと医療に加えて福祉についても興味があったため、学位取得(看護学)に必要な単位を取るだけでなく、放送大学を卒業することを選びました。2年半をかけて学んできました。

在学中に新型コロナウイルス感染症が流行し、通常の業務の他にコロナ関連業務が加わり、仕事量が増えました。母親でもあるため、家事と育児もあり、継続して勉強を続けるのは心身共に想像以上に大変でした。ですが、放送大学はオンライン授業や放送授業のインターネット配信があるので、自分の都合に合わせて勉強ができたため、卒業することができました。勉強はとても楽しく、看護職に役立つと感じています。

放送大学は学び方がたくさんあり、充実させるのも自分次第だと感じます。自分のペースで楽しみながら勉強をして欲しいです。



ご卒業おめでとうございます

単位認定試験

放送大学では、新型コロナウイルス感染拡大を契機に単位認定試験の実施方法の改善に取り組んでおり、2022年度第2学期単位認定試験についてはWeb受験方式(※一部科目のみ郵送受験方式)にて実施します。

詳しくは「学生生活の葉」(教養学部p.68～77、大学院p.67～76)や放送大学ウェブサイト「2022年度第2学期単位認定試験についてのご案内」(<https://www.ouj.ac.jp/news/2022/information/0802.html>)もご確認ください。

【Web受験方式】

- ・インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
- ・1科目50分の制限時間があります。
- ・科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。
(各科目の実施形式については『2022年度第2学期授業科目案内』に記載されています)

【試験期間】

2023年1月17日(火)9:00～1月25日(水)17:00

※申請により学習センターで受験予定の方は「授業科目案内」及びシステムWAKABAに記載の試験日時に受験する必要がありますが、自宅等から受験する場合には、試験期間中ならばいつでも受験可能です。

※アクセス集中などでつながりにくい場合もございますので、試験期間終了間際の受験は避け、できるだけ時間に余裕を持って受験してください。

※学習センター受験・自宅等受験、どちらの場合も一時停止不可、1回のみの受験になります。

※実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、試験期間前までに必ず、受験に使用する予定の端末からWeb単位認定試験体験版を操作してください。

【郵送受験方式】

・郵送受験に該当する授業は「正多面体と素数('21)」(記述式)、「日本美術史の近代とその外部('18)」(記述式)、「量子科学('19)」(併用式)のみです。

・試験時間の制限はありません。

・試験1週間前ごろに大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
(※1月10日(火)までに届かない場合は大学本部(043-276-5111)へお問い合わせください)

【提出期間】

2023年1月17日(火)～1月25日(水)《必着》

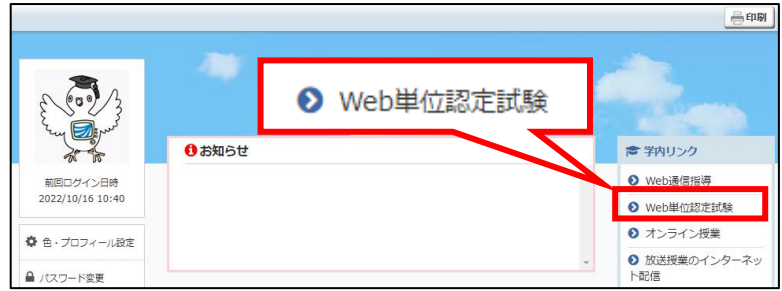
Web 単位認定試験

(1) アクセス方法

システムWAKABA(<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>)にログインし、TOP画面右側「学内リンク」から「Web単位認定試験」をクリックします。

※ログインID・パスワードは、入学許可証(圧着はがき)に記載されています。

※パスワードを忘れてしまった場合など、ログインできない方は栃木学習センター窓口(028-632-0572)までお問い合わせください。



(2) 画面説明

【操作ガイド(必読)】

詳しい操作方法はこちら。

【よくある質問】

単位認定試験について、学生の皆さまからの「よくある質問」がまとめてあります。分からないことがあった際には、参考にしてください。

※よくある質問例※

タブレット、スマートフォンでの受験はできますか？



「科目一覧」に履修中の科目が表示されていませんか！



受験を中断した場合、再開することはできますか？

受験中に、誤ってウィンドウを閉じてしまったらどうしたらいいでしょうか…？



【科目一覧】

ここから受験科目名をクリックすることで受験できます。Web単位認定試験体験版を選ぶことで、練習したい出題形式の体験も可能です。

※Web単位認定試験体験版受講する際は、初回のみ「私を受験する」と表示されるので、クリックしてください。



(3)操作の流れ

①科目選択

「科目一覧」から受験する科目をクリックします。

②試験開始

注意事項が表示されます。確認の上、「問題を受験する」をクリックして受験を開始します。

※一度受験を開始すると制限時間タイマーのカウントダウンが始まります。タイマーを一時停止することはできません。

③解答作成

「択一式問題」

問題文の下に選択肢がセットで表示され、正解だと思う選択肢をクリックすることで解答します。

「記述式問題」

問題文の下に解答記入欄がセットで表示され、解答記入欄に文字入力することで解答します。解答途中で画面左下にある「一時保存」ボタンをクリックすることで、解答内容をこまめに保存しておくことが可能です。

※併用式の場合は、択一と記述の両方の形式で出題されます。

④保存確認

解答作成が終わったら「保存して次へ」をクリックして解答内容を保存し、確認画面で解答状態を確認します。解答を修正する場合は「受験に戻る」をクリックして解答作成画面に戻ります。

※「保存して次へ」を押さずに解答作成画面を離れると、それまでの解答内容が失われる場合があるのでご注意ください。

⑤解答提出

確認画面で解答状態を確認し、問題がなければ「すべての解答を送信して終了する」ボタンをクリックし、解答を提出します。

※「全ての解答を送信して終了する」を押さずに制限時間が経過した場合、制限時間経過時点の解答内容が自動送信されます。

※体験版は何度でも解答提出できますが、本番の単位認定試験は一度しか解答提出できませんのでご注意ください。



より詳しい操作方法は、Web単位認定試験システム画面左上の「操作ガイド」をご確認ください。

また、お一人での操作練習が不安な方や、自宅でWeb受験できることを確認したい方などに向けて、栃木学習センターでは「Web受験操作体験会」を実施しています。

参加を希望する方はお気軽に栃木学習センター(028-632-0572)までお問い合わせください。

試験の結果

試験結果は2月下旬に「成績通知書」によって通知します。また、システムWAKABA「教務情報→履修成績照会」でも成績を確認することができます。（「成績通知書」には通信指導不合格および未提出の科目は掲載されません。）

※成績通知書の到着を待っていると科目登録に間に合わない可能性があるため、システムWAKABAでの確認や、システムWAKABAから科目登録を行うことをおすすめしています。

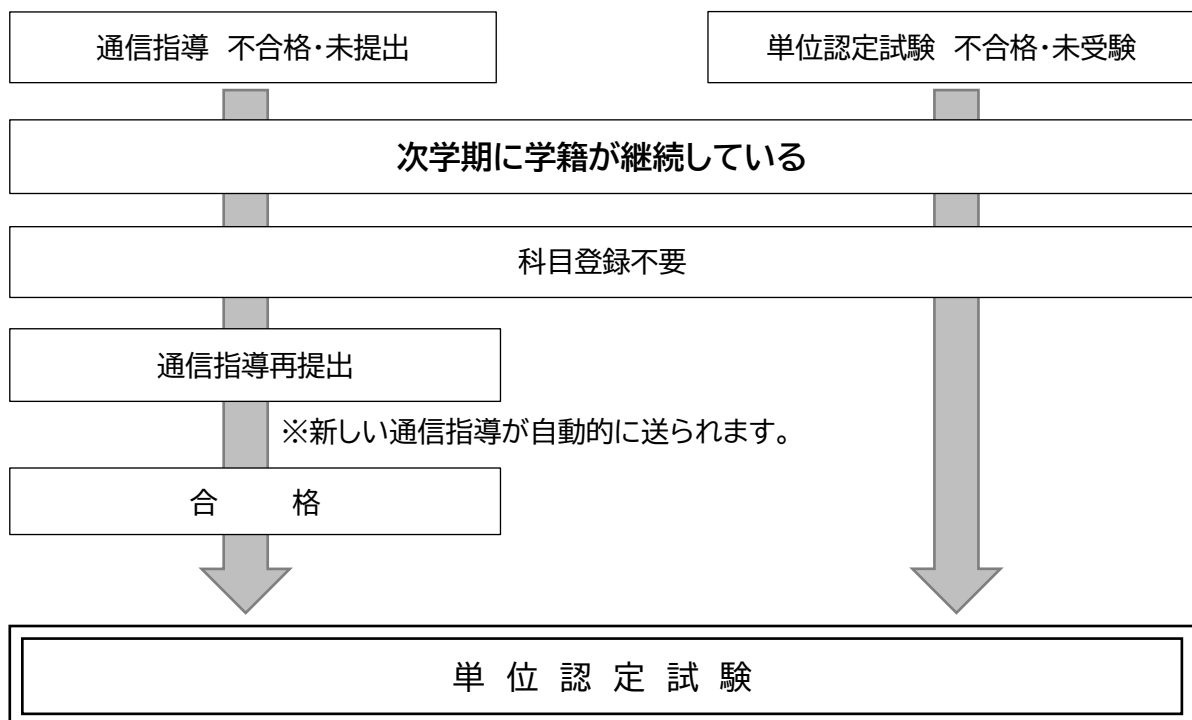
再試験について

今学期に登録した科目のうち、[通信指導 不合格・未提出]または[単位認定試験 不合格・未受験]だった科目については、次学期に学籍がある場合に限り、科目登録をしなくても再試験を受けることができます。

再試験にかかる授業料は不要です。

今学期で在学期間が終了する方は、継続入学の手続きが必要です。

詳しくは「学生生活の栞」(教養学部p.74～、大学院p.73～)を参照してください。



次学期の準備(科目登録・継続入学)

科目登録申請開始の8日前になっても『科目登録申請要項』などの関係資料が到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部(TEL:043-276-5111)にご連絡ください。

次学期に学籍がある方

科目登録申請

【郵送】 2月13日(月)～2月27日(月)大学本部必着

1月中旬に大学本部から送付される「科目登録申請要項」に添付されている「科目登録申請票」に必要事項を記入し、大学本部に郵送してください。

【システムWAKABA】 2月13日(月)9:00～2月28日(火)24:00

※教養学部生で面接授業(スクーリング)を登録したい方は、併せて申請を行ってください。

※「郵送」と「システムWAKABA」の重複申請はできません。

次学期に学籍がなく、継続入学を希望する方

継続入学出願

■面接授業(スクーリング)を登録しない方

【郵送】 ≪第1回≫ 11月26日(土)～2月28日(火)大学本部必着

≪第2回≫ 3月 1日(水)～3月14日(火)大学本部必着

1月中旬に大学本部から送付される「継続入学用出願票」または学習センター等で配布している「学生募集要項」に添付されている「出願票」に必要事項を記入し、大学本部に郵送してください。

【システムWAKABA】

≪第1回≫ 11月26日(土)9:00～2月28日(火)24:00

≪第2回≫ 3月 1日(水)0:00～3月14日(火)17:00

※「郵送」と「システムWAKABA」の重複出願はできません。

■面接授業(スクーリング)を登録する方

【システムWAKABA】 2月13日(月)9:00～2月28日(火)24:00

期間内にログインし、「教務情報>継続入学申請」にて出願した際に、同時に面接授業科目登録を行ってください。

※郵送での出願はできません。

※面接授業(スクーリング)のみの出願はできません。放送授業を1科目以上、必ず登録してください。

■再試験のみを希望する方

出願票裏面の科目登録欄は空白にし、●印の設問欄(桃色)の回答を「はい」として○を記入してください。

この場合の学費は入学料のみとなります。

《卒業が見込まれる全科履修生の方》

1月中旬に送付される「卒業見込み者宛て連絡事項」および2月下旬に送付される「卒業認定通知」により卒業となるかを確認のうえ、必要な手続きをしてください。

詳しくは『学生生活の栞』p.94～を参照してください。

卒業とならない方	次学期に学籍がある場合	科目登録申請
	次学期に学籍がなく、引き続き在学を希望する場合	継続入学出願
卒業となる方	再入学を希望する場合	

図書だより

図書・視聴学習室 閉室日のお知らせ

1月17日(火)～1月25日(水)(試験期間中のため)

3月23日(木)(新学期教材の配架作業のため)

上記日程はどちらも終日閉室となります。

図書や放送教材の閲覧、学生用パソコンの利用はできませんので、ご了承ください。

「学生図書リクエスト」受け付け終了

12月22日(木)で、2022年度の学生図書リクエストの受け付けは終了となります。

来年度も皆さまからのリクエストをお待ちしています。

リクエストありがとうございました！



特別ゼミのご案内

受付期間：1月6日(金)9:00～各ゼミ開講1週間前まで

【参加資格】 栃木学習センターに所属する学生(学生種別は不問。ただし休学者は除く。)

【注意事項】※受講料は無料ですが、材料費など実費がかかる場合があります。

※正規の単位としては認められません。

※全ゼミ先着順です。お早めにお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。

【申込方法】事務室窓口・電話・FAXのいずれかの方法でお申し込みください。

お申し込み際は、氏名・学生番号・希望ゼミ名・ご連絡先をお伝えください。

FAXの場合は、明記してください。

心理学に触れてみる

講師:石川 隆行(いしかわ たかゆき) [専門分野/発達心理学]

心理学では、人間の心的機序に関する理論があり、それを実験や調査、テストなどで説明しようとしています。当日は、心理学で学ぶ記憶、知覚、感情、欲求などからいくつかの理論を紹介し、それにまつわる簡単な実験、テストを実施したいと思います。

※初歩的な説明となりますので、これから心理学を学ぼうとする方、また心理学を学び始めたばかりの方など向けとなります。

日	時	2月4日(土)13:00~17:00	定	員	4名	
会	場	演習室Ⅱ	持	ち	物	特になし

人間の感覚を測る

講師:渡邊 信一(わたなべ しんいち) [専門分野/工学教育・感性工学]

簡単な人間の感覚実験を行い、実験方法の問題点や改善点、さらに発展的な実験方法をグループワークにより議論する。また、実験結果について議論・考察し発表する。自由で活発に議論し、楽しく勉強しましょう。

2回に分けて開講します。

1回目:授業の説明、実験と実験結果のまとめ。実験方法についての議論。

2回目:実験結果の考察、実験方法の提案、議論したことを発表。まとめと振り返り。

日	時	1回目:2/5(日) 2回目:2/12(日) 共に 13:00~17:00	定	員	15名	
会	場	大講義室	持	ち	物	可能であれば、ノートPCをご持参ください。
備	考	原則、両日参加できる方。				

SDGs時代における吉野林業を考える

講師:平井 英明(ひらい ひであき) [専門分野/土壌学]

吉野林業は、日本の3大人工美林といわれている。一目千本桜で著名な吉野山を含む地域には、広大なスギとヒノキの人工林が広がっている。その広大な人工林は、天然林とともに奈良県の水源林となり、さらには、防災林・環境林としての役割を担っている。しかしながら、近年、人工林施業を担う後継者の不足によって、持続可能な森林施業が困難になりつつある。この吉野林業地帯へのフィールド調査結果を紹介し、文献調査を含めて、SDGs時代における吉野林業の将来を考えたい。

日	時	2月18日(土)8:50~16:10	定員	10名
会	場	大講義室	持 ち 物	筆記用具

地震の科学と地震防災

講師:伊東 明彦(いとう あきひこ) [専門分野/理科教育学、地球物理学]

地震及び地震防災に関する理解増進を図る。地震の基礎知識を学ぶとともに、インターネットを通じた地震に関する情報の取得方法、活用法について演習形式で学ぶ。

1. 地震の科学

地震とは何か、地震観測の仕組み、地震はなぜ起こる、アスペリティとは何か、地震予知はできるのか。

2. 地震に関する情報の活用

地震に備える、強震動予測、地震情報の集め方、地震臨時情報

日	時	3月4日(土)13:30~17:30	定 員	10名
会	場	演習室 I	持 ち 物	特になし、希望者はノートPC持参可

言語・文化・比較研究

講師:佐々木 一隆(ささき かずたか) [専門分野/英語学、言語学]

ことばは不思議です。日常生活に浸透している自明な存在ですが、その構造や機能や獲得を観察してみると分からないことが多く出てきて、興味がつきないからです。この特別ゼミでは、言語・文化・比較をキーワードとして、多様性と普遍性の両面が見られる言葉の不思議をさぐっていきます。

日	時	3月11日(土)9:30~17:30	定 員	10名
会	場	演習室 II	持 ち 物	英語と日本語の辞書(電子辞書可)

jamoviで学ぶ心理データ解析

講師:西谷 健次(にしにに けんじ) [専門分野/心理学、教育心理学]

調査・実験データを統計的に解析する「心理統計法」は、心理学を学ぶ人にとっては鬼門です。数式に基づいて統計法を理解していくのが望ましい学び方なのかもしれませんが、まずは「習うより慣れる」です。R環境で動作するフリーの統計ソフトjamoviを使って統計法を身近に感じてみましょう。

※心理学を学んでいる方の受講を希望します。

日	時	3月18日(土)9:30~17:30	定 員	10名
会	場	演習室 I	持 ち 物	USBメモリー

公開講演会のご案内

今日はどんなファッションで？ ～コーディネート感性工学～

人間の感性と物理的要因を結ぶ学問を感性工学といいます。今回は、目立ち感やこなれ感といった服装印象に対して、色や明るさ、丈と幅の比率などの計測できる要因がどう影響しているかについての研究を紹介します。本公演を通じて感性工学の一端を知って頂き、また日々のコーディネートの参考にしていただければと思います。

開催日時 2023年1月29日(日)
10:00～12:00 **講師** 宇都宮大学名誉教授 阿山みよし

参加料 無料(一般、放送大学生) **定員** 50名(先着順)

会場 宇都宮市陽東7-1-2 宇都宮大学陽東キャンパス
9号館911教室(正門を入ってすぐ右手の建物)

同時Zoom会議配信

下記のURLにログインし、オンラインで
申し込んでください。
右のQRコードからもログインできます。



お申込み URL : <https://forms.gle/hnx4Rzau2LjV7Ecu9>

オンラインでの申し込みが不安な方は、電話で申し込んでください。
追って、参加方法等をメールか電話でご連絡します。
放送大学栃木学習センター:028-632-0572

キャンパスカレンダー

(ゼ)…特別ゼミ (面)…面接授業 ■…閉所

1月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7 (面)	8 (面)
9	10	11	12	13	14	15
16	17 ☆	18 ☆	19 ☆	20 ☆	21 ☆	22 ☆
23 ☆	24 ☆	25 ☆	26	27	28	29
30	31					

【1月の予定】

- 7・8日 (面) 「日本の教育制度改革の動向」
「Dr.りえの「音楽の常識」」
- 17～25日 ☆ 単位認定試験実施期間 (図書・視聴学習室 終日閉室)
【Web: 17日9時～25日17時】【郵送: 25日必着】
- 14・15日 大学入試共通テストのため臨時閉所
- 28・29日 大学入試共通テストのため臨時閉所
- ※29日の公開講演会は陽東キャンパスにて開講いたします。

2月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4 (ゼ)	5 (ゼ)
6	7	8	9	10	11	12 (ゼ)
13 ◎	14	15	16	17	18 (ゼ)	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

【2月の予定】

- 4日 (ゼ) 「心理学に触れてみる」
- 5・12日 (ゼ) 「人間の感覚を測る」
- 13日 ◎ 2023年度第1学期 科目登録申請受付
(郵送: 2/27必着) (Web: 2/28まで)
- 18日 (ゼ) 「SDGs時代における吉野林業を考える」
- 25日 宇大個別試験のため臨時閉所

3月

月	火	水	木	金	土	日
		1 ◎	2	3	4 (ゼ)	5
6	7	8	9	10	11 (ゼ)	12
13	14	15	16	17	18 (ゼ)	19
20	21	22	23 (図)	24	25 ●	26
27	28	29	30	31		

【3月の予定】

- 1日 ◎ 2023年度第1学期 学部・大学院(選科・科目)
出願受付期間(第2回) (3/14まで)
- 4日 (ゼ) 「地震の科学と地震防災」
- 11日 (ゼ) 「言語・文化・比較研究」
- 12日 宇大個別試験のため臨時閉所
- 18日 (ゼ) 「jamoviで学ぶ心理データ解析」
- 23日 (図) 図書・視聴学習室閉室 終日閉室
- 25日 ● 修士論文発表会・卒業研究発表会

変更になる場合がありますので、学習センターウェブサイトをご確認ください。

学習相談日(1月～3月)

主に毎週土曜日(13:00～17:00)に学習相談日を設けています。

ご希望の方は「学習相談申込書」にご記入の上、事務室で申し込んでください。

手続きの詳細につきましては、栃木学習センターウェブサイトまたは事務室まで問い合わせてください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。

※先生の都合により日程が変更になる場合がありますのでご了承ください。

※先生や相談内容により事前に予約が必要な場合があります。

※専門分野とは各教員の核となる分野であり、これよりも広い分野の学習相談に応じることができます。

教員名/現職	専門分野	相談日		
石川 隆行 宇都宮大学准教授	発達心理学	1/21	2/18	3/11
大森 玲子 宇都宮大学教授	食物学 食生活学	1/7	2/18	3/4
佐々木 一隆 宇都宮大学教授	英語学 言語学	1/21	2/4	3/11
佐藤 美恵 宇都宮大学教授	情報工学	1/21	2/4	3/4
清水 奈名子 宇都宮大学准教授	国際関係論	1/7	2/4	3/4
西谷 健次 作新学院大学教授	心理学 教育心理学	1/28	2/18	3/18
平井 英明 宇都宮大学教授	土壌学	1/7	2/4	3/4
渡邊 信一 宇都宮大学准教授	工学教育 感性工学	1/21	2/11	3/11
伊東 明彦 栃木学習センター所長	理科教育学 地球物理学	随時対応		

放送大学栃木学習センター

■ 開所時間：9:00～17:30

窓口・電話対応：9:00～12:00，13:00～17:30

※新型コロナウイルス感染状況により変更になる場合がありますので、学習センターウェブサイトをご確認ください。

■ 閉所日：月曜・祝日休

〒321-0943 宇都宮市峰町350(宇都宮大学峰キャンパス内)

【HP】<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tochigi/>

【TEL】028-632-0572 【FAX】028-632-0570 【E-mail】tochigi-sc@ouj.ac.jp

「とちの実 第127号」は12月現在で栃木学習センターに在籍している学生にお届けしています。

次号は4月号発行予定です。(「とちの実」は年4回発行)